

ウエスト・サイド・ストーリー (2021)

WEST SIDE STORY

メディア 映画

ジャンル ミュージカル ロマン스

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 157分

初公開日 2022/02/11

公開情報 ウォルト・ディズニー・ジャパン

映倫 G

【キャッチコピー】

ひとつになれない世界に、愛し合える場所はあるか？

【解説】

レナード・バーンスタイン（作曲）とスティーヴン・ソンドハイム（作詞）が名曲の数々を手がけたブロードウェイ・ミュージカルを1961年にロバート・ワイズ監督が映画化し大ヒットした不朽の名作を、今度は巨匠スティーヴン・スピルバーグが再映画化。移民たちが多く暮らす1950年代のニューヨークの下町を舞台に、互いに敵対するグループに身を置きながら愛し合う若い男女の運命を、現代的なテーマを盛り込みつつ、華麗な歌と踊りで描き出していく。主演は「ベイビー・ドライバー」のアンセル・エルゴートとオーディションで選ばれた新星レイチェル・ゼグラ。共演にアリアナ・デボーズ、デヴィッド・アルヴァレス。また1961年版でアニータ役を演じてアカデミー助演女優賞に輝いたリタ・モレノの出演も話題に。

1950年代後半のニューヨーク。マンハッタンのウエスト・サイドに暮らしていた多くの移民たちは、同胞たちで結束し、互いに助け合うことで厳しい世の中を生き抜いていた。そんな中、プエルトリコ系の若者たちで構成された“シャークス”と“ジェッツ”というヨーロッパ系移民グループの対立が激しさを増していた。ある日、シャークスのリーダー、ベルナルドを兄に持つ MARIA は、ダンスパーティーでトニーという青年と出会い、2人は互いに惹かれ合う。しかしトニーはジェッツの元リーダーであり、2人の恋は決して許されるものではなかったのだが…。

【クレジット】

監督	スティーヴン・スピルバーグ	Steven Spielberg
製作	スティーヴン・スピルバーグ	Steven Spielberg
	クリスティ・マコスコ・クリーガー	Kristie Macosko Krieger
	ケヴィン・マックコラム	Kevin McCollum
製作総指揮	リタ・モレノ	Rita Moreno
	ダニエル・ルピ	Daniel Lupi
	アダム・ソムナー	Adam Somner
	トニー・クシュナー	Tony Kushner
原作戯曲	アーサー・ローレンツ	Arthur Laurents
脚本	トニー・クシュナー	Tony Kushner
撮影	ヤヌス・カミンスキー	Janusz Kaminski
プロダクションデザイン	アダム・ストックハウゼン	Adam Stockhausen
衣装デザイン	ポール・タゼウェル	Paul Tazewell
編集	セーラ・ブロシャー	Sarah Broshar

振付	マイケル・カーン	Michael Kahn	
作詞	ジャスティン・ペック	Justin Peck	
作曲	スティーヴン・ソンドハイム	Stephen Sondheim	
指揮	レナード・バーンスタイン	Leonard Bernstein	
オリジナル振付	グスターボ・ドゥダメル	Gustavo Dudamel	
エグゼクティブ音楽プロ デューサー	ジェローム・ロビンズ	Jerome Robbins	
出演	マット・サリヴァン	Matt Sullivan	
	アンセル・エルゴート	Ansel Elgort	トニー
	レイチェル・ゼグラ	Rachel Zegler	マリア
	アリアナ・デボーズ	Ariana DeBose	アニータ
	マイク・フェイス		リフ
	デヴィッド・アルヴァレス	David Alvarez	ベルナルド
	リタ・モレノ	Rita Moreno	バレンティー ナ